

使っている花 ■ クレマチス
(エトワーズローズ)、シャク
ヤク(華燭の典)

6月
June

WEEKEND
FLOWER

クレマチス

花言葉 精神の美/旅人の喜び

可憐に舞い咲く蔓性植物の女王
のびやかに、涼感あふれる花飾りを

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- しっかり水があがっている、鮮度のよい花を選びましょう。
- カットした切り口の下から1cmほどをハサミの柄などで軽くたたき、細く硬い茎をほぐします。ひと手間かけて、水を吸いやすくしてあげましょう。
- 切り花栄養剤でさらに水の吸上げがよくなり、花持ちもぐんとアップ!小さな蕾まで咲き、長く楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 万が一クレマチスの水が下がってしまったら、花を壊さないように新聞紙にくるみ、足元をぎゅっとセロハンテープで留めて、上記のように茎の切り口を処理します。たっぷりの水に2~3時間浸ければシャキッと元気に!
- ② シャクヤクを短めにカットし、器の口元にいけます。
- ③ シャクヤクを花留めにしながら、クレマチスを舞い咲くようにあしらっていきます。茎や葉の動きを観察しながら、美しいラインを生かしてのびのびと!

初夏を彩る涼しげで可憐な花姿

世界中に300もの自生種を持つ蔓性植物の女王。クレマチスはギリシャ語で「蔓」の意味。日本や中国が原産の品種もあり、和名は「テッセン(鉄線)」。バラのパートナープランツとしてガーデンでも大人気です。愛らしいつぼ型の花姿と、茎や葉の軽やかなシルエットが美しい品種群は、今のナチュラルトレンドにもぴったりです。

